

## 令和2年度地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業 実施状況一覧

No.	実施主体	事業名	事業の実施状況
1	神戸市	SNSとAIを活用したキャリアカウンセリング・キャリアアップサポート事業	<p>就職氷河期世代のうち非正規雇用など不安定な就労環境にある方が、働きながらもキャリアアップや正規雇用に向けた活動が行えるよう、SNSやAIを活用したオンラインプラットフォームを開発し、相談、研修、マッチング支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職者数(非正規を含む) R2目標:25 R2実績:36</li> <li>AIマッチングを活用した求職者の自己理解の促進/職業選択の視野の拡大により、警備員(保安の職業)といった有効求人倍率の高い傾向にある職業で多くの就職者を創出できた事に加えて、委託先事業者の営業努力で様々な企業を開拓したことにより、新型コロナ渦中においても、寧ろニーズの高まった広告デザイナー・WEBクリエイターでも一定数の就職者を創出できたことが大きい。</li> <li>・チャットボットの友達ユーザー数 R2目標:2500 R2実績:1400</li> <li>新型コロナウイルスの感染拡大に伴う事業者との面談・事業者による企業訪問の遅れにより、事業開始が遅れた</li> <li>・カウンセリング受講者数 R2目標:250 R2実績:386</li> <li>チャットボットの友達登録後は、神戸市の委託事業であるとの「安心感」から、LINEで「気軽」に申込・相談ができることが受講者数増につながったものと思われる。</li> </ul>
2	神戸市	ひきこもり状態等にある方の就労支援充実	<p>2020年2月に設置した「神戸ひきこもり支援室」を本格稼働させ、電話等による相談に加え、相談員による家庭訪問や医師等専門職で要請する専門チームの派遣、関係機関とのネットワーク構築による情報の一元化を行うことで、早期支援や長期化の防止を目指した。また、地域若者サポートステーションにおいて就職氷河期世代の無業者に対して心理カウンセリングを行い、結果を踏まえてサボステの適切な支援プログラム等へつないだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひきこもり状態にある就職氷河期世代の方のアウトリーチ型の相談 R2目標:24 R2実績:33</li> <li>・地域若者サポートステーションにおける心理カウンセリング実施件数 R2目標:40 R2実績:29</li> <li>緊急事態宣言による事業の中断(中断期間:R2.4.1～R2.5.31)及び新型コロナウイルス感染症の影響による対面での相談業務の抑制</li> </ul>
3	神戸市	氷河期世代の転職・再就職及び市内企業人材確保の同時的推進事業	<p>就職氷河期世代向けに就労に必要なスキル・意欲向上等を目的としたセミナーによりスキルアップを図り、就職氷河期世代の採用に意欲と理解のある企業の開拓を並行して行い、職場見学・職場体験を含む丁寧なマッチング支援を通じて採用につなげた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・氷河期世代向け就業支援セミナーへの参加者数 R2目標:100 R2実績:121</li> <li>・職場見学・職場体験の参加人数 R2目標:40 R2実績:42</li> <li>・本事業を通じ正規雇用としての採用に至った人数 R2目標:10 R2実績:5</li> <li>緊急事態宣言の発出に伴い、事業開始が遅れたことにより、職場体験・見学の開始が遅れたとともに、同宣言の再発出により、職場体験・見学の実施が延期となった事例もあり、未達となった</li> </ul>
4	伊丹市	就職氷河期世代就労サポート事業	<p>若年層や氷河期世代の就職困難者に対し、求職活動に向けての基礎的知識を取得するためのセミナーを実施、また職場体験実習にも取り組み就職へ結びつけた。年1回開催(10月～12月)。参加対象:市内在住の概ね50歳までの無業の人20人募集。17人受講。就職決定者4人。別途就職面接会(オープン参加)において参加者29人のうち就職決定者4人。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業における講座受講者数の内氷河期世代受講者者の人数 R2目標:7人 R2実績:8人</li> <li>・氷河期世代受講者の内就労した者の人数 R2目標:4人 R2実績:1人</li> <li>コロナ禍においての就職状況が厳しく、市内およびハローワーク管内において資格を必要としない職種で製造業やサービス業関係の求人数が少なかった</li> <li>・上記の就職した者の内正社員となった者の人数 R2目標:2人 R2実績:0人</li> <li>求人数の中で、正社員については専門職あるいは経験者を求める企業が多く、マッチングが困難であった</li> </ul>

No.	実施主体	事業名	事業の実施状況
5	宝塚市	就職氷河期世代リモート型就労支援事業	<p>就職氷河期世代のうち不本意ながら不安定な仕事についている方、働きながらキャリアアップを望む方などを対象に、SNSアプリ「LINE」を活用したシステムを開発し、就労に関する相談、キャリアカウンセリング、セミナー情報の配信等、オンライン上で就労支援を実施。提供サービス名は「ヅカキャリア」とし、令和2年10月9日より運用を開始した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業による就労者数(非正規採用を含む)R2目標:5人 R2実績:22人            想定より本サービスにかかるアクティブユーザーが多く、その分就労者数も多くなった</li> <li>・キャリアカウンセリング利用件数 R2目標:150件 R2実績:172件</li> <li>・情報配信に対するアクセス数 R2目標:1050回 R2実績:5935回</li> </ul> <p>「ヅカキャリア」の友だち登録者数が想定よりも多く、その分アクセス数も多くなった</p>
6	加西市	地域若者サポートステーションの拡充	<p>地域若者サポートステーションの対象者を54歳まで引き上げ、さらに「ひきこもり」の状態の者も一次相談窓口として対象とし、就職氷河期世代のすべてを支援対象として、対応した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・34歳～49歳でひきこもり状態にある方やその家族等からの相談件数 R2目標:10人 R2実績:0人</li> <li>・相談者中の就職等件数 R2目標:2人 R2実績:0人</li> </ul> <p>ひきこもり状態の方にとって来訪相談はハードルが高い。広報、チラシ、ふるさとハローワークで周知しているが、相談までに至っていない</p>
7	兵庫県	ひきこもりの居場所及び居場所へのつなぎ資源確保事業	<p>県内の居場所拡充に向けた居場所の担い手養成研修や、自宅から居場所へのつなぎ支援のため家族支援プログラム(CRAFT)の実践者養成研修を実施した。また、多様な居場所を確保する観点からインターネット環境を活用した電子居場所を設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居場所を設置する市町村数 R2目標:3 R2実績:9</li> <li>・8050問題が社会問題化する等の理由により、市町のひきこもり支援の必要性に対する認識が高まっていることが要因と考えられる</li> <li>・家族支援プログラム(CRAFT)の実践者及び支援者研修延受講者数 R2目標:100 R2実績:25</li> </ul> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、支援者養成研修の開催を中止したため(CRAFTワークショップ及び症例検討会を開催)</p>
8	兵庫県	ミドル起業家支援事業	<p>就職氷河期世代のうち、無業者や非正規雇用の方を対象として、本人に合った形での就労や社会参加が可能となるよう、起業を考えている方に対して立上げ経費の一部を支援することで、安定した起業及び事業運営のサポートを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該事業を活用した起業家数(新規事業数) R2目標:20 R2実績:12</li> </ul> <p>県内の起業志望者に向けてチラシ配架や商工会議所・県内コワーキング施設等を通じた周知を行ったが、コロナ禍により活動が十分実施できなかったこともあり、申請につながらなかったことが実績に影響した</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該事業の活用による新規雇用数 R2目標:40 R2実績:8</li> </ul> <p>各事業者とも創業開始からも間もないこと、コロナ禍により経営状況が厳しい状況であることから、想定よりも雇用創出につながらなかった</p>
9	兵庫県	ミドル世代就労支援事業	<p>兵庫県が委託運営する、ひょうご・しごと情報広場にミドル世代就労相談窓口を設置し、就職氷河期世代の抱える課題を踏まえ、個々の状況や適性に応じたキャリアカウンセリングから段階的な就職支援プログラムを実施し、実際の職場での体験就業からマッチングまで行う就職支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひょうご・しごと情報広場におけるミドル世代の就労相談件数 R2目標:100人 R2実績:670人</li> <li>・求職者に相談窓口を利用してもらったため、ホームページやチラシの広報に力を入れた。</li> <li>・ひょうご・しごと情報広場の支援によるミドル世代の就職者件数(正規雇用) R2目標:10人 R2実績:6人</li> </ul> <p>コロナ禍により企業が正規採用を控えた影響もあり、6人の実績となったが、非正規雇用を含めると計13人の就職につながった</p>
10	兵庫県	就職氷河期世代等就労支援プログラム事業	<p>就職氷河期世代のうち不安定就労者や未就職者等を対象に、安定就労に向けた就職活動を支援するため、ビジネスマナーや履歴書作成等の研修と企業とのマッチング等の就職活動支援を組み合わせた人材育成プログラムを実施し、就職氷河期世代の活躍支援を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムへの就職氷河期世代の参加者数 R2目標:30人 R2実績:26人</li> </ul> <p>事業全体で60人の定員を大きく上回る123人の応募があり、相対的に氷河期以外の世代が半数強を占めた</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムに参加した就職氷河期世代の就職者数(正規雇用) R2目標15人 R2実績:6人</li> </ul> <p>コロナ禍により企業が正規採用を控えた影響もあり、6人の実績となったが、非正規雇用を含めると計17人の就職につながった</p>

No.	実施主体	事業名	事業の実施状況
11	兵庫県	短期職場体験就業事業	<p>就職氷河期世代のうち、卒業時に未就職であった者など、これまで十分な職業経験のない者を対象にキャリアカウンセリングにより適性を見極めるとともに、企業が必要とする人材を的確に把握のうえでマッチングを行い、実際の職場での体験就業を通じて、ミスマッチのない就業につなげた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業参加者数(プレ雇用+職場体験クラス) R2目標:200人 R2実績:109人</li> <li>・プレ雇用を通じた就職者数(正規雇用) R2目標:20人 R2実績:3人</li> </ul> <p>新型コロナウイルスの影響で企業の受け入れ見合わせや、求職者の来所人数が減少したことが影響した</p>

## 令和2年度地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業実施状況に対する意見等

[令和3年6月10日 兵庫県就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム運営会議(書面協議)]

意見等	事務局回答
兵庫県、神戸市、宝塚市の事業では、目標を超える実績の事業がある。目標値を超えた事業の実施手法等、成功事例を共有する仕組みや機会があれば、更に成果に結びつくのではないかと思います。	県内関係市町、県庁内各課とともに事業の実施手法、成果を挙げるための工夫などについて今後も連絡を密にし、情報共有を図っていこうと考えております。引き続きご協力お願いいたします。